



# TIAニュース THE VOICE

No.14

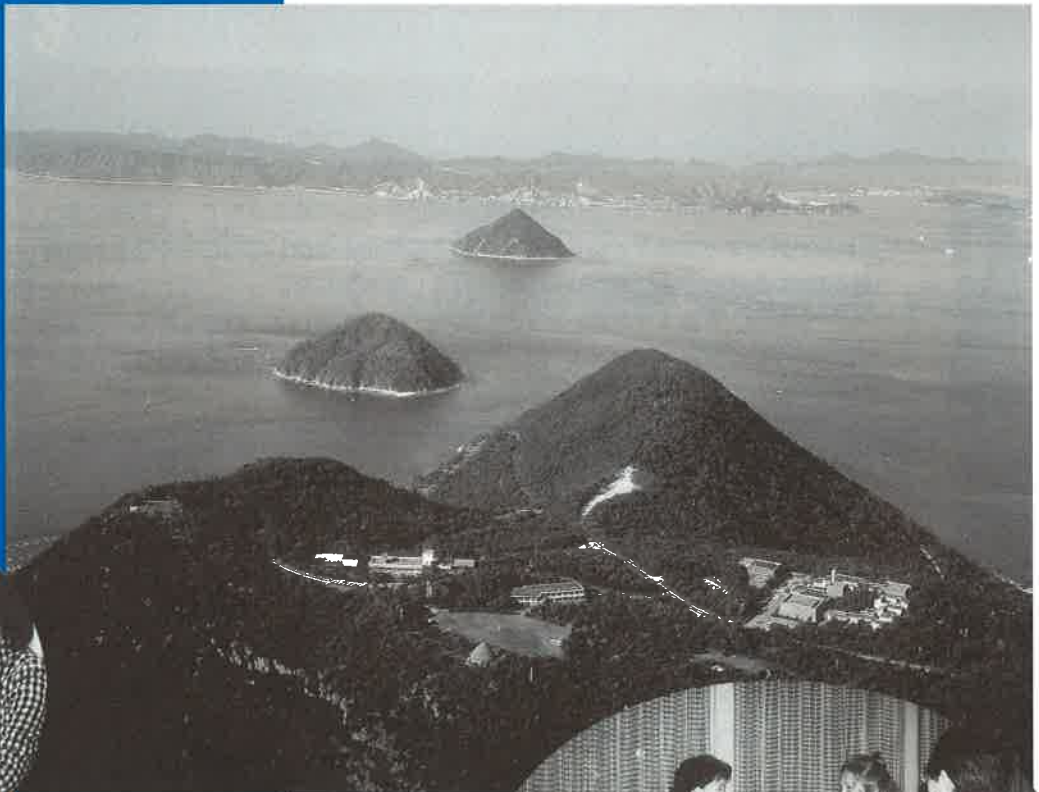
編集・発行 財団法人高松市国際交流協会

TIA ニュース・THE VOICEには、高松市の国際交流に関する声をまとめていきます。

## 中核市・高松 これからの国際交流

高松のさらなる  
国際化(多文化共生社会)  
にむけて前進します。

高松市は、平成11年4月から  
中核市になりました。  
TIAは二十一世紀の



### INDEX

- ★'99 たかまつ国際交流ボランティアの集い
- ★グローバルトーク
- ★姉妹都市親善使節団派遣事業  
(アメリカ・セント・ピーターズバーグ市)
- ★春節友好聯歡会
- ★さめぎ国際交流お正月会
- ★第8回中学生訪中親善使節団帰国報告
- ★在住外国人のための行政相談会
- ★留学生のホームビジット・プログラム
- ★香川大学留学生会紹介
- ★SHIKOKU MURA-WARAYA UDON EXPERIENCE TRIP
- ★高松市内国際交流団体紹介(社)高松青年会議所
- ★TIA事業予定
- ★他団体の事業予定
- ★リニューアル! 姉妹友好都市紹介パンフレット
- ★「7カ国語会話集」発売中
- ★TIAのホームページ作成中
- ★編集後記

# たかまつ 国際交流



## KEYNOTE SPEECH

クロスカルチャーコミュニケーション・コンサルタント

Dr. Kamal Prasad さん

(カナダ・バンクーバー出身)

### 演題：「多文化共生都市」



T I A高松市国際交流協会が高松市の外郭団体として設立されて、9年目になりました。姉妹都市交流からはじまり、内なる国際化を目指しての在住外国人との交流、国際交流団体支援と年々活動分野を拡大してきました。

ここ数年は、外国人と市民との出会いの場づくりを通じて、行政と市民の中間的存在としての認知を受けてきました。また、一方で今後の協会の役割について様々な意見を頂戴するようになってきました。

高松市の国際化の状況も設立当初と大きく変わってきました。高松市在住の外国人は2倍(900人から2000人)になり、また様々な国際交流団体の活動が充実し、海外経験者も増加してきました。

21世紀の国際交流をしくくってみたい!!

### グループ1 「クロスカルチャー イベントを企画しよう」

ファシリテーター：植田康広

(高松青年会議所・国際交流委員会委員長)

「環境問題や原子力などの世界規模の問題についてのディスカッションをしたり、料理、音楽、民話等、異文化紹介を通じて、誰でも参加できる、自由なスタイルでイベントをする、そして最も意欲的な人をリーダーにして、財源も、協会その他の助成以外にも企業の協賛金を募るなど新しい方法を検討する。」



### グループ2 「ホームステイは もっと楽しくなる」

ファシリテーター：丸浦静香(香川SSGG事務局次長)

「言葉が出来なくても、知りたい気持ち、話したい気持ちがあれば、深く知り合える。日本の文化の良さを再認識できる。宗教の違いや生活リズム、情報不足があったりすると、困ることがあるが、家族の協力で日常そのまま受け入れる。特別な生活を作らない気持ちがあればホームステイはうまくいく、といったことを確認した」

# ボランティアの集い

●平成11年2月28日 ●アイパル香川  
主催 ●(財)高松市国際交流協会

160以上の言語が飛び交う街、カナダ・バンクーバーでの、異文化コミュニケーションコンサルタントの活動と、香川県に住んでみての経験から、高松の国際化に向けて大切なことを語っていただきました。異文化に対する日本人の接し方から、環境まで幅広い側面からの話しになりました。



## バンクーバーからの報告」

当協会の活動も、以前にも増して、きめの細かい外国人への情報提供や、市民や団体の国際交流活動の支援、新しい異文化交流の場づくりの推進が求められています。

その中心になるのが、国際交流ボランティア活動です。協会では、様々な市民の方が国際交流の推進役として、活動されることを期待し、サポートしていきます。

今回の、基調講演やワークショップでいただいた貴重な意見を活動にいかし、国際交流ボランティアや市民のみなさんと一緒に高松の国際化を推進していきます。

各グループのテーマ別に、自分が国際交流の主役ならばどのようなことをするのかを話し合いました。

### グループ3 「地球市民教育って何だ？」

ファシリテーター：宮城正枝(香川短期大学講師)  
異質なものを暖かく受け入れる心や柔軟に対応する性質を持ち、地球の規模で考えて何を考えるとともに、日本を理解することも大切。また西洋だけでなく、アジアのことも考える。外国語の能力を高め、地域と関わり、理解し、紹介できるようにすることが、地球市民教育を考える上で大切なことを確認した。

## みんなで作ろう! 国際交流プログラム

### グループ4

#### 「外国人への情報提供」

ファシリテーター：平野キャシー (TIA理事)  
観光情報等は外国語の資料がかなり出ているが、日本での生活のルールに関する情報(住宅、職場、法律)などの情報提供はもっと必要。外国人がよく集まる所に情報を集めるとともに、どこにいる、どの人が、外国人がほしいと思っている情報を持っているかを、明確にしておくこと。

### まとめ

今回のワークショップの中から率直な意見交換や、参加者との話し合いを通じて、国際化に向けての一人ひとりの思いや、高松の潜在力の高さを実感しました。当協会の活動も、以前にも増して、きめの細かい外国人への情報提供や市民や団体の国際交流活動の支援、新しい異文化交流の場づくりの推進が求められており、それは市民や国際交流に関わるボランティアの存在めぎには実現出来ないことです。

TIAでは、今年新たに青年のつどい実行委員会、外国人のど自慢大会実行委員会、TIAかわら版編集チームを立ち上げ、今回のボランティアのつどいの成果を踏まえ、ボランティア参画型事業を推進しています。



平成10年12月12日 ●高松市女性センター  
主催 ●(財)高松市国際交流協会  
●高松市女性センター

ファシリテーター：井原理代（香川大学経済学部教授）  
メインスピーカー：ロザベラ・プラサド（カナダ・徳島文理大学助教授）  
スピーカー：カジ シャハラナ アーメド（バングラデシュ・香大農学部大学院生）  
スピーカー：王長君（中国・香大農学部大学院生）  
スピーカー：ジーナマーティンズ（フィリピン・主婦）



ロザベラ・プラサドさん  
Rosabella Prasad

### ホーム エデュケーションについて

教育というのは一人ひとりの子供がよく学んで自分の個性を発揮すること。一人ひとりの子供に関心を持つこと。一人の親として思うのは子供が助けを必要とするときに助けてあげられること。私はカナダ出身ですが、とてもよいと思うことは、ホームエデュケーションに関しては様々な選択肢が用意されているからです。今日はその一つであるホームスクーリングについてお話しします。

### ホームスクーリングにおける義務

5歳以上の子供をもつ人は、どのような教育を子供にしていくかを学校に登録し、学校側は教材を提供し、評価(テスト)する義務があります。もし、ホームスクーリングを選択した子供があまり家で勉強していないということを見つけた場合は、その旨を教育委員会に報告し、教育委員会側は報告を受けると、調査をしなければならないと決められています。

### 指導者は両親

ホームスクーリングを実施していくに当たっては、両親と子供両方に時間管理をきちんとしていくことが大事な要素となってきます。また、ホームスクーリングする人を支援する学校、図書館が必要になってきます。両親の資格については、法律でははっきり決まっていますが、高い教育を受けていて、それなりに時間もあって、資金的にも余裕のあることが必要になってきます。

### ホームスクーリングのメリット

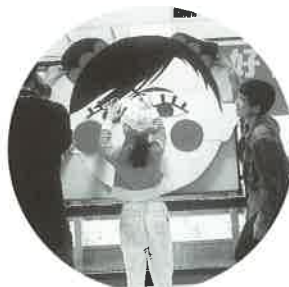
学校に行って子供たちが学ぶということは、いわゆる学問的なことに限られますが、たとえば家で一緒にクッキーを焼いたり、父親と車を修理したり、庭を手入れしたりということで、education といった意味での教育も施すことができるというふうに考えております。



新年好!!

## 春節友好聯歡会

2月14日(日)に、中国の旧正月(春節)を祝う春節友好聯歡会が、アイバル香川を会場に、香川県中国留学生学友会の主催でにぎやかに行われました。チャイナドレスなど華やかな衣装を身につけた留学生たちや、春節と一緒に祝いたいという参加者たちで会場はうめつくされ、クイズや福笑いなど、日中両国のゲームや踊りなどを楽しみました。



お正月会

さぬき国際交流

1月11日(日)に、アイバル香川で、在住外国人に日本のお正月文化を体験してもらい、交流を深めるお正月会が開催されました。こままわし大会にもちつき、リサイクルボーリング大会と楽しい一時を過ごしました。

このお正月会は、高松市内外の国際交流団体の共催で行われました。

参加団体：綾上国際交流会・仏生山国際交流会・宇多津国際交流会・KUFSA香川大学留学生会・PHIL-JA FRIENDS・サカキサユーズ・香川トキメキ夢讃品交流会・香川中華同友会・韓国人有志・TIA

王：子供を教育することとは

- (1) 子供に対してすべてのことを完全に教えるのは不可能である。重要な項目以外は彼ら自身が自分で考えるように持つていく。
  - (2) 重要なことをたっぷり時間をかけて子供と十分に議論すること。
  - (3) 重要なことは子供の自主性に任せる。
  - (4) 重要なこと以外の興味がないことは自分で選択する権利を与える。
  - (5) 重要なことを勉強する過程を子供に経験させる。
- その他、短時間で効果をあげるなら、子供に強制させることである。

カジ：教育熱心な国

バングラデシュの子供は、5歳か6歳で学校に上がります。毎年テストがあり、全体の3分の1とらないと、次のクラスには進めません。そのテストの結果からレベル別にクラス分けをします。この試験は絶対に受けなくてはならないものです。先生が毎日たくさん宿題をだすので、子供たちは家で宿題をして遊びません。

1年生から、2つの言葉（母国語と英語）を学びます。放課後は外へでて、他の子供とふれあうことが、子供の成長にとっても大切なことだと思っています。また、子供の教育は母親がします。

ジーナ：コミュニケーションの違い

仕事の関係で日本に来て最初に経験したことは、コミュニケーションの問題です。非常につらかったことは、母国では大学を卒業しているのに、日本語がわからないためにまるで識字ができない人に見られたことです。

あるとき、学校で娘が外国人であるということで子供の間でもめごとがあったときに、先生が日本の子供や文化について教えてくれ、娘にはたくさんの友だちができるようになりました。日本での生活に適應するということが子供にとって難しいことだと思いますが、子供を励ましたり、ほめたり、母親として学校の行事に参加したりして、乗り切っています。

将来子供をつれてフィリピンへ帰ったときに、時期をまちがえると、また、カルチャーショックやコミュニケーションの違いを感じるかもしれません。

———教育にとって最も重要なことはなんですか———

口ザベラ：子供が考える用意ができた時にかかわりをもってあげることが大切なのではないでしょうか。子供は一人ひとり個性をもっていますので、気持ち、精神的な意味で学ぶ姿勢ができたときに、教育を開始するのが理想だと思います。

王：教育者自身が自分自身を管理する。日本語でいうと父親の背中を見せる。これを、生徒、子供に見せるということが大事だと思います。

カジ：私が大切だと思うのはやはり知性の開発だと思います。ですが、それを無理強いするのは良くないと思います。

ジーナ：私にとっては子供を仕付けることです。他人に迷惑をかけないように。

セント・ピーターズバーグ市  
(フロリダ州)

姉妹都市  
親善使節団  
派遣事業

11月21日(土)～28日(土)の8日間、姉妹都市親善使節団として5人の市民の人がセント・ピーターズバーグ市等を訪れました。

セ市では、98年のネットアートの作品に応募したという児童のいるシオアクレスト小学校や、市立の社会福祉センターなどを訪問し、個人で設定した研修目標に沿って視察しました。これらをまとめた報告書がありますので、そちらもぜひご覧ください。



研修目標

▼中学校や高校、また、フリースクールなどの高校中途退学者問題への取組みについて（多田 進さん）

▼ボランティアで朗読奉仕をしているグループや、図書館でアメリカの視覚障害者の方々の情報収集の方法について（吹田恵美子さん）

▼アメリカにおける小学校での情報教育の内容や設備の状況について（谷本直哉さん）

▼障害者に関わる施設、学校、作業所、地域での活動の場について（平田百合子さん）

▼民間のボランティア団体がどれくらい存在し、どのような活動を行っているかについて（前田 緑さん）

第8回 中学生訪中親善使節団 帰国報告

3月25日(木)～31日(水)までの7日間、高松市内の中学生22人が、高松市と友好都市である南昌市や、北京、上海を訪れました。彼らの素直でいきいきとした感想を報告書にまとめましたので、ぜひご覧ください。  
(第9回の中学生訪中親善使節団は、8月20日出発予定)



# 在住外国人のための行政相談会

3月6日に、四国行政監察支局の主催で、はじめて香川県在住の外国人8人(国籍:カナダ・中国・アルゼンチン・オーストラリア・イラン)が集まり、日ごろ不便に感じていること、ストレスになっていること、日本の行政について疑問に感じていることなどを聞いて、行政の仕組みや対応を説明したり、今後の国際化に向けて参考にするを目的に、行政相談会が開催されました。

行政相談のプロと、在住外国人の間に率直な質疑応答が交わされました。主な質問や意見は次の通りです。

## 主な質問

- サインは実印の代わりになるか?
- 永住外国人に参政権は与えられるか?
- 永住者の再入国許可は必要か?
- 留学生の連帯保証人について
- 社会保障制度の2国間協定について
- 公立学校教員に外国人の任用を
- 走行中の携帯電話の使用規制・チャイルドシートの着用を
- 日本の子供に道德教育を
- 外国人同士の結婚手続きについて

行政側の回答について知りたい方は、四国行政監察支局または、TIAまでご連絡ください。

## 「なにしょんな?」

### 留学生のホーム ビジット・プログラムです。

TIAの国際交流ボランティアは、今年も留学生のホームビジットの受け入れをしています。

4月11日の留学生歓迎会で顔合わせした後、それぞれが訪問する日を打ち合わせました。初対面の時は、お互いにややぎこちなさがありました。歓迎会が終わるころには意気投合して、和気あいあい。楽しいホームビジットが行われています。



## SHIKOKU MURA-WARAYA UDON EXPERIENCE TRIP

The morning was cool. A slight breeze coming in from the north. Soft clouds in the distance, perhaps threatening rain. AT the Agricultural Faculty, all was quiet. You could almost hear the bees at work. The scene was set for a day of fun. The first load of foreigners left with TIA's Tanaka, 5 in the car with little Maoi, Tanaka Junior, struggling to keep her balance in the back while her father raced "grand-prix" style to get us to Yashima on time! And everyone somewhat excited, not quiet awake, and already getting hungry. While their fingers tapped to Bob Seger's "The fire inside".

An early arrival at Yashima saw some of the foreigners watching the local fishermen catch... turtles with a fishing-rod! That was Maoi's amazement day for flowers and fish.

Lazily the foreigners assembled at Yashima's International House, and, like a giant sea-slug, gradually moved towards Waraya Udon Restaurant, the event's meeting place. On the way we were passed by a convoy of participants, foreigners and Japanese, who honked their horns as they went by.

The Lions Club's members all flashy in their yellow jacket, and the Bangladeshi ladies, all in their bright traditional dresses, the start of the day was a real feast of colours. Even Ms. Yoshioka reminded us of the days when people used to get dressed-up colourfully for the horse-races.

A fabulous international welcome by Mr. Yoshiaki. Unfortunately he forgot Portuguese, obrigado in his excellent list of thank you's! Everyone, now with a formidable appetite built-up, we entered Waraya en masse where, noisily, everyone enjoyed a real mix of hot and cold udon, fired food and mocha. Dare I say that some of the foreigners were getting good at slurping... and not at all shy in front of the cameras!

With a wonderful full stomach, we lazily progressed towards Shikoku Mura entrance, where some group photos were ably taken and coordinated by Mr. Shichijo. Then somebody gave the microphone to Sabry, the Egyptian. And of course, Sabry did an excellent job at keeping everyone informed about everything... except Shikoku Mura! He even dared offer free trips to Egypt on countless occasions!

Those who didn't know felt that they might fall prey to wild crocodiles as they crossed the vine-bridge. I wasn't sure if the colour on Jeong's face was because of the udon or because of the bridge! She made it, and recovered as we crossed the luscious gardens of Shikoku Mura. Kazi

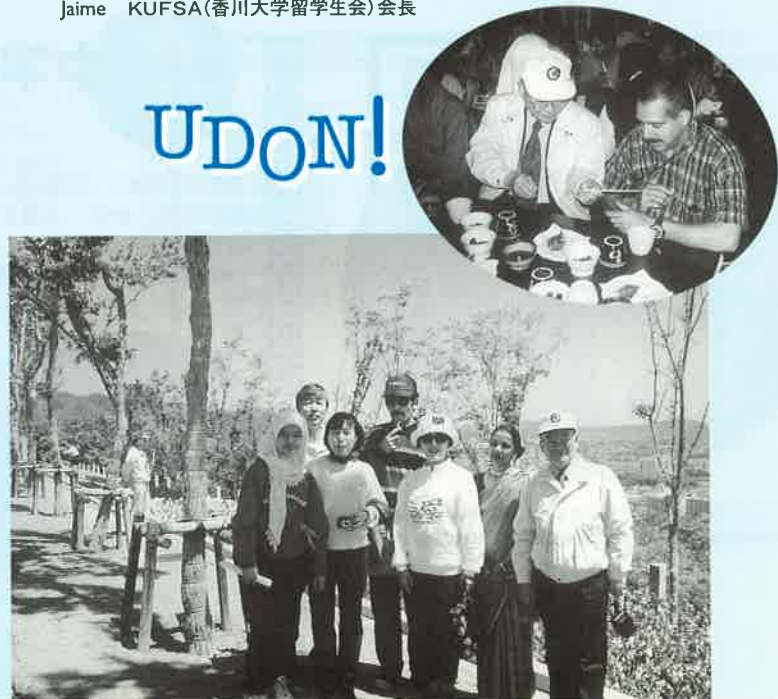
heftily lifted the 85kg stone without too much strain, showing exactly who's BOSS! This, even to the shock and amazement of her husband, Lavlav, who suddenly acquired this new look of pride and respect thereafter... Some of the foreigners-too afraid to do any less than Kazi shamefully apologized with having sore backs, heads, and pains in places of the body some of us never knew we even had.

And just when everyone was getting affected by the heat, the drink-vending machines appeared like an oasis in the desert. And Sabry felt at home... By the exit, even Maoi looked like sun-melted ice-cream! And almost quite suddenly, almost as quickly as it began, the trip ended.

Simple, but sincere thank you's from Lions, TIA's and KUFSA's members, everyone went their own way, each a bit richer. Richer with new friendships and contacts, richer with an experience which will live with them for a long time yet.

Jaime KUFSA(香川大学留学生会)会長

## UDON!



## 香川大学留学生会 (KUFSA)

香川大学留学生会は香川大学留学生を代表する会です。例えば留学生の社会的及び学問的な要望に相互交流を通じて基本的なサポートをします。さらに留学生と日本人学生との親睦を深めるための、公的機関や個人またはグループ間の親密な協力関係を目指しています。カルチャーショックを軽減するために文化交流を通じて留学生を支援することを目的としています。



### KUFSA役員紹介

会長 ジャイメ・ダ・シルヴァ (ポルトガル)  
 書記 サルニャ・ナウンパン (タイ)  
 会計 フェロジュ・ハサン (バングラデシュ)  
 広報担当 ベアトリス・チャシャ (ザンビア)  
 文化交流 ブランカ・ユンベ (メキシコ)

4月29日みどりの日。香川大学留学生と高松ライオンズクラブの方々との交流のお手伝いとして、四国村散策に参加させていただきました。風は爽やか、青空も澄みわたり、最高の散策日和でした。

集合後、まず「わらや」でのうどん体験。皆さん、しっかり食べることは忘れずに、英語と日本語での会話がはずんでいました。おなかもいっぱいになり、緊張もほぐれたなかで、ついに散策開始です。

入り口のかずら橋付近から、早速わいわいがやがや。中には、美しい民族衣装に合わせた繊細な靴を履いて来たために、周りからは艶やかに見えても、本人は真っ青になって真剣に渡っているという場面もありました。

散策中は、エジプトからの留学生サブリスさんのユニークかつプロ並みのガイドもあって、笑い声が絶えず、皆さん楽しんでいました。適度な運動もでき、歴史にも触れ、自然の中でリラックスできたと思います。そして、何より、良い交流、触れ合いができたのではないのでしょうか。

自分がきちんとお手伝いできたかはわかりませんが、私個人的にも久しぶりに楽しい一日を過ごすことができました。もっとこのような機会ができ、より多くの方が参加できれば良いと思います。特に今回の四国村散策のように、参加した人が満足し、また来たいと思えるようなイベント、活動等を行うことが大切。次回の交流の場が楽しみです。皆さん、楽しい一日をありがとうございました。(国際交流ボランティア 本川奈美)

### KUFSA●主催

7/4 小豆島日帰り旅行  
 10/17 KUFSAまつり

### KUFSA●協力

7/27 綾上国際交流会民族料理  
 フェスティバル(お喋りクッキング)  
 9/18~19  
 第7回高松国際交流青年のつどい

### 香川県内の団体との交流会

地元の学校、協会、地域社会との文化交流、ビデオ上映会、ボーリング大会、ピクニック、OPIEF協賛の2000年スキーツアー



## 高松市内 国際交流団体 紹介

高松市内には、たくさんの国際交流団体がありますが、今回は「(社)高松青年会議所」をご紹介します。

## (社)高松青年会議所

Takamatsu Junior Chamber

Think Globally Act Locally

(社)高松青年会議所(通称JC)は今年で創立43周年、会員数は現在203名です。

明るく豊かなまちづくりをテーマに高松および近郊に勤務する25~40歳までの青年で構成されています(国籍、性別は不問)。青年会議所が行う事業は15の委員会にて企画、運営されています。

主な今年  
の事業

- 社会開発運動 ●成人の日の献血  
 ●まちづくり協議会  
 ●硝子の灯台の名称募集
- 青少年開発事業 ●さぬきっ子ふれあいスクール  
 ●冬のまつりJCデー
- 国際事業 ●高松国際交流青年のつどい  
 ●ホームステイ受入れ  
 ●韓国と台湾にある姉妹JCとの相互交流



今、一万人規模のJCのアジア大会(Aspac)を高松に誘致する運動を行っています。また、来年に世界80カ国からJCメンバーが集まって開催される「2000年国際アカデミー」の準備もしています。

### (社)高松青年会議所

(担当 植田) 県庁前 TEL087-831-2302

E-mail jc760@mb.kagawa-net.or.jp

# 国際交流ボランティア 募集

当協会では随時、国際交流ボランティアを募集しています。  
 活動内容 ● 語学ボランティア ● ホームステイ受け入れ ● 事業運営 ● 編集 等

## お知らせ

### TIAの今後の事業予定

- 7月** 7/11  
外国人のど自慢お国自慢大会  
場所：香川県総合福祉センター  
ボランティアさん募集中
- 8月** 8/14  
高松まつり国際交流おどり子連参加  
場所：中央通り、中央公園
- 8/20～25  
第9回中学生訪中親善使節団派遣
- 9月** 9/18～19  
高松国際交流青年のつどい  
場所：国営讃岐まんのう公園
- 9月末(予定)  
姉妹都市親善使節団派遣
- 11月** 11/14  
国際交流フェア  
場所：アイバル香川、中央公園
- 12月** 12月頃(予定)  
グローバルトーキング  
場所：高松市女性センター
- 1月** 1月16日(予定)  
さめき国際交流お正月会  
場所：アイバル香川
- 2月** 2月頃(予定)  
国際交流ボランティアの集い  
場所：アイバル香川

### 他団体の事業予定

- 7月** 7/4  
KUFSA日帰り旅行(小豆島)  
主催：KUFSA
- 7/6～11  
香川日仏協会写真展  
(ヨンデンプラザギャラリー)  
主催：香川日仏協会
- 7/20～31  
スウェーデン感動教室  
主催：日本スウェーデン青少年友好協会
- 10月** 10/17  
KUFSAまつり  
主催：KUFSA
- 10/27～30  
来県ドイツ人との交流会  
(香川総合園芸センター他)  
主催：香川日独協会
- 10/31  
日中交流スピーチ大会  
(高松商工会議所)  
主催：高松日中友好協会

5月21日のTIA情報交換会資料より

## リニューアル!

### 姉妹友好都市紹介パンフレット

高松市と姉妹友好都市である、アメリカのセント・ピーターズバーグ市とフランスのトゥール市、中国の南昌市を紹介したパンフレットがカラー刷りで新しくなりました。

### 「7カ国語会話集」発売中!

外国からのお客様がうちにホームステイすることになったら? 「なんていえばいいの??」 答えはこの「7カ国語会話集」の中から見つかります。500円で発売中です。

### mailをお待ちしています。

いつでもお気軽にメールをください。アドレスは下記のとおりです。 E-mail : tia @ kgw. enjoy. ne. jp

ホームページも作成中!



### 編集後記

2000年まであと数ヶ月になりました。しまなみ海道も開通し、瀬戸内三橋時代を迎えた今、四国はいろいろな分野での交流発展が、期待される時がきました。多くの外国人が在住する中核市・高松のこれからの国際交流は多文化共生社会で学び合うことが大切でしょう。

14号ではグローバルトーキング、国際交流ボランティアの集い等の中でそのことを考えてみる機会をつくりました。

当協会のVOICEが皆様との情報交換の場となり、諸活動が更にSTEP UPされるのを願っています。

m.y